

河原電子ビジネス専門学校の3つの方針

1. 河原電子ビジネス専門学校の理念と目的

本校は、情報社会の発展に寄与できる情報処理専門能力を持った人材の養成と、社会の要請に応えることのできる秘書、経営又は観光に関する専門能力を持った人材の養成、及び外国人に対する日本語教育を目的とする。

本校は、情報社会の発展に寄与できる情報処理専門能力を持った人材の養成と、社会の要請に応えることのできるビジネス専門能力を持った人材の養成、及び外国人に対する日本語教育を目的とする。

2. 3つの方針

(1) 称号授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)

本校は、専門的な知識・技能・資格を有し、かつ社会常識と基本マナーを備えた、明るく健康的で自発的・意欲的に物事に取り組める調和のとれた企業人となり、地域社会に貢献できる者に称号を授与する。具体的には、以下の三つの能力を以って卒業要件とする。

- ① 自己の目標を定め、計画的な学習を通じて、より高度な知識・技能・資格の修得に努めること。
- ② 地域社会が直面する課題に対して専門的な理解を深めるとともに、実践的な能力を有すること。
- ③ グローバルな視野を持ち、地域社会に貢献できる力を有すること。

(2) 教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

高度情報社会が抱える諸問題における様々な関連性を見出し、各専門分野で必要とされる知識や技術を実践的な学びによって修得し、広い視野と思考力をもって地域社会で活躍できる人材を育成する。

● ITエンジニア科 (4年制)

ITエンジニア科 (4年制) では、情報処理全般に関する知識を有し、先端基盤技術を修得するための企業と連携した実践技術を通じて、「専門分野の深み」を学ぶことにとどまらず「産業界で必要とされる幅広い知識」、「産業界やマーケットの動きに柔軟に対応できる能力」を修得する。1年次に経済産業省情報処理技術者試験に関する知識教科(150時間)を学習し、最新のプログラミング言語実習を(270時間)行うとともに、これに関連する科目を履修させる。2年次においては、1年次の学習を発展させ、Web開発に関する科目(240時間)を学習するとともに、システム設計やソフトウェア工学に関する科目(150時間)を開発技術と平行して実施する。3年次は、システム管理に関する科目および監査、プロジェクトマネジメントやサービステクノロジーに関する科目を修得し、4年次にはこれらを統合的に開発できる人材育成を行う。特に4年次には、最先端技術を習得する科目(180時間)を実施し、自力でサービス提案を行い総合的なシステム開発(120時間)を実施する。

● ITエンジニア科 (3年制)

ITエンジニア科 (3年制) では、情報処理全般に関する知識を有し、業界の激しい変化に柔軟に対応でき、長いキャリア全般に渡り最先端を歩むことができる技術者を育成する。専門分野の知識と高度な技術との関わりについて体系的に理解し、業務に活用できる実力を修得する。1年次に経済産業省情報処理技術者試験に関する知識教科(150時間)を学習し、最新のプログラミング言語実習を(270時間)行うとともに、これに関連する科目を履修させる。2年次においては、1年次の学習を発展させ、Web開発に関する科目(240時間)を学習するとともに、システム設計やソフトウェア工学に関する科目(150時間)を開発技術と平行して実施する。3年次は、最先端技術を習得する科目(180時間)を実施する。3年間で修得した技術を使用して総合的なシステム開発(210時間)を実施する。

- Web システム科

Web システム科では、情報処理全般に関する知識を有し、コンピューターシステム的设计・開発手法を身につけ、システム詳細設計や下流工程に関わる業務力を身につける。急速に多様化する IT 社会に対応するために専門的な知識・技能をもち実践的な活用能力を有する人材を育成する。そのため、Web 関連教科(540 時間)、プログラミング関連教科(510 時間)でプログラミング実習を通じて、順序立てて考えたり、仕組みを考えるなどの合理的、論理的思考力を向上させる。またプログラミングを完成させるという目的達成のために前に進む主体的な行動力を身につける。システム開発設計関連科目(270 時間)では、システム的设计・開発においてシステムに対する要求を整理し適用できる技術を身につけ、創造的に取り組む力、コミュニケーションを通じた要求分析、問題解決能力を向上させる。国家試験関連科目(330 時間)においては、IT の基本的な知識や技能を体系的に学び、情報システム、ネットワーク、データベースなどの设计・開発・運用において技術的問題を解決できる能力を向上させる。

- ゲームクリエイター科

ゲームクリエイター科では、ハードウェアの知識、アルゴリズム、数学など、ゲーム制作における基礎的な知識・技術とリアルタイムCGプログラミング、ゲームエンジン活用などを通して、発展的で最先端の知識・技術を学びます。これらを学ぶことにより、変化の激しいゲーム業界で10年、20年先でも活躍できる人材を育成します。そのために、1年次にはコンピュータの知識に関する教科(360 時間)、プログラミング関係の教科(540 時間)を展開し基礎的な知識を身につけます。2年次からはリアルタイムCG関係の教科(360 時間)、ゲームエンジン関係の教科(360 時間)ゲーム制作演習(270 時間)などを行い、発展的な技術を身につけます。3年次からはデザインパターン、ネットワークプログラミングなどより高度な教科を勉強しゲーム分野だけではなく、広くコンピュータサイエンスに精通した人材を育成します。

- IT ビジネス科

ビジネスに必要な法律やマーケティング、会計、経営などの知識を専門的に学び、ビジネスリーダーとなるためのプロジェクト管理能力や経営戦略の立案に必要な知識を修得し、新たな事業を展開できる人材を育成する。また、職業人として備えておくべき情報技術に関する共通的な基礎知識を修得し、広くビジネス分野で活用できる人材を育成する。そのためには、販売士(390 時間)、eコマース(90 時間)、簿記(540 時間)の科目で、マネジメントに必要な売上データから動向の分析、将来の予測を計画する力、戦略の立案、種類などの知識を身に付けさせる。また、顧客ニーズの多様化および専門性の高度化が求められる中、質の高いサービスの提供ができるよう IT スキルの向上を、Office 実務(120 時間) IT パスポート(270 時間)の時間で取得させる。さらに、ビジネスの業界で必要とされる、現状の理想とのギャップを解決させるための問題解決能力の提案ができるよう、プランニング力、プレゼンテーション能力を、Office 実務応用(270 時間)の時間で取得させる。

- 国際観光ビジネス学科

国際観光ビジネス学科では、日本国内のホテル・観光業界で必要とされる知識と技術、高い語学力を身に付けさせることを目的とする。特に多種多様化が予想されるインバウンド需要に対応できるよう、「インバウンド実務」(100 時間)の時間で訪日外国人のニーズを知り、満足度の高いおもてなしとは何か自ら考え実行できる力を養い、将来的には訪日外国人への観光情報発信などの広報業務ができる人材となる素養を身に付ける。そのためには、当然必要とされる日本の地理、歴史、文化に関する知識を1年次「観光地理」(100 時間)、「日本事情」(200 時間)で学ばせる。また、「ホ

テル実習」(100時間)ではホテルサービスの基本的な考え方や知識、ふるまいを身に付け、ホテル業界への就職にも対応する。語学力においては、日本語力の強化を第一に、「日本語能力試験対策」 「総合日本語」(合計300時間)で4技能(読む・書く・話す・聞く)の総合的な語学能力向上を図り、日本語能力試験N2、N1の合格を目指す。日本語力と合わせて訪日外国人対応で必要不可欠となる英語力、特にサービス英語を「観光英語」「ビジネス英語」等の時間(200時間)で学ばせる。

- 日本語学科

日本語学科では高度な日本語力の習得と日本社会での自律を目指す。日本留学の入口となる役割を担うことから入学後6か月は「総合日本語」(220時間)の時間で基本的な文法、語彙を中心に学ばせ、日本語の基礎を固める。入学後6か月以降からは、日本語の技能別の能力向上のため、「文法」「聴解」「読解」「記述」(各50時間/6か月)の分野ごとの授業を取り入れ、バランスよく日本語の知識を学ばせる。それとともに、「総合日本語」(70時間/6か月)の時間で、学んだ知識を応用し、聞く・話す・書く・読むの2つ以上のスキルを結びつけたタスクを行い、日本語力コミュニケーション力を身に付けさせる。さらに進学後必要となる、勉学・研究のための日本語運用力の基礎を習得させるため「演習」(50時間/6か月)の時間で日本語での調査、考察、発表をさせる。様々な校外学習や校行事、「日本事情」(25時間/6か月)を通して、日本文化、習慣、マナーへの理解も深める。

(3) 入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

本校の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を理解した上で、「常に感謝の心を持って、何事にも素直な心で、見聞きし、考え、鼓動する」を基本に、次のことを身につけることを目標としている。

- めまぐるしく変化する新しい次代に対応できる高度な専門知識と技術
- マナー、コミュニケーション能力等の職業意識
- 何事にもあきらめず、徹底して取り組める人間力

以上

附則 31年4月1日制定

附則 31年4月1日発効